

## 看護部キャリア開発センター



## 1. スタッフ

センター長（兼）看護部長 越村 利恵

その他、副看護部長 2 名、看護師長 3 名、副看護師長 4 名、事務補佐員 1 名（兼任を含む。）

## 2. 活動内容

## (1) 設置目的と教育プログラム

2004 年 6 月に既存の現行教育プログラムに加えて、

1) 個人のキャリア開発をより推進する、2) 院内の看護師のみでなく、広く院外の看護職員に教育の機会を提供するという目的で当センターを設立し、15 年目となった。

## 1) 個人のキャリア開発をより推進する

クリニカルラダーのレベルⅡ（一人前）以上と認定された者がさらにキャリアアップするための学習の機会を提供している。当初、コースⅠ（初級）、コースⅡ（中級）、コースⅢ（上級）と段階的にレベルアップできるように設定していたが、2012 年度より、院内看護職員の学習ニーズに応え、専門分野を特定せずに幅広く学べるコースに変更した。2018 年度からは、コースⅠ（初級）を Basic コースⅠと Basic コースⅡに分け、Basic コースⅠは基礎的な知識の学習を目指す基礎編、Basic コースⅡは知識の活用を目指す応用編とし、段階的な学習を促している。また院内の受講者数の増加をねらい、受講料を無料とした。コースⅡ（中級）、Ⅲ（上級）については Advanced コースとし、特定の専門分野における実践能力の習得に重点を置いた内容としている。

## 2) 広く院外の看護師に教育の機会を提供する

看護部の基本方針のもとでは、院内外を問わず、より質の高い看護を提供することができる看護職員を育成することが必須である。Basic コースは講義中心のプログラムであり、より多くの受講生を受け入れることができている。

## (2) 目標

- ・ 地域に開かれた教育センターを目指す
- ・ 個人のキャリア開発を推進する教育プログラムを提供する
- ・ 看護師の職業的モチベーションを高める
- ・ 高い臨床実践能力を持つ看護師を養成する



## 3. 活動体制

センター運営委員会を置き、月 1 回の委員会で以下の内容について検討している。

- ・ 教育プログラムの立案・実施・評価
- ・ 研修の運営
- ・ 教育の体系化
- ・ 看護師の教育ニーズの把握
- ・ 院内外に対する啓発活動、情報発信
- ・ その他、看護師のキャリア開発に関すること

## 4. 活動実績

## (1) 運営委員会

- ・ 前年度のコースの評価をもとに 2018 年度開催するコースを決定し、募集要項を作成した。
- ・ 院外の看護職員に対する広報活動として、ホームページに募集要項を掲載した。
- ・ 大阪府下の 100 施設（本院を除く）に募集要項を郵送し、前年度申込者にはメールで案内を送信した。
- ・ 初めて講師を担う院内看護職員向けに、研修資料作成時の著作権に関する注意事項等（イラストや図表、写真など使用について）を作成した。
- ・ 教育の体系化に向けて領域（看護実践・管理・教育・研究）ごとに研修プログラムの構成を検討した。
- ・ センター設立 15 周年記念として講演会を企画・実施した。

## (2) 研修

2018 年度に開催した研修と受講者数は表 1・2、施設別の受講者数は表 3 の通りである。

各コースの研修後には受講者へのアンケートにて研修プログラムを評価した。アンケートの作成と集計作業の効率化を図り、2016 年度に開発した独自のアプリ（iPad）を用いてアンケートを実施した。Basic、Advanced コースともに 90%以上の受講者からよい評価を得ることができた。

## (3) 講演会

2018 年 11 月 2 日（金）17:30～19:00、吉川秀樹先生を講師に迎え、「大切なものは目に見えない-幸せに生きる秘訣-」というテーマで講演会を開催した。院内の職員 96 名（事務補佐、医学系研究科の職員含む）の他に、院外からも 16 名が参加した。



表 1. Basic コースの受講者数（延べ人数）

領域	研修名	時間数	受講者数		
			院内	院外	合計
看護実践	スキンケア・創傷ケアに必要な知識（基礎編）	3	27		27
	スキンケア・創傷ケアに必要な知識（応用編）	3	11		11
	ストーマケアに必要な知識（基礎編）	3	9	21	30
	ストーマケアに必要な知識（応用編）	3	10	7	17
	感染予防対策のエビデンス	3	15	14	29
	手術部位感染予防-術前・術中・術後管理-	3	8	9	17
	感染管理-感染対策の改善と評価-	3	20	9	29
	糖尿病と最新のインスリン療法の知識（基礎編）	3	12		12
	糖尿病と最新のインスリン療法の知識（応用編）	3	17	6	23
	家族支援に必要な知識（基礎編）	3	23	28	51
	家族支援に必要な知識（応用編）	3	8		8
	急変対応①急変対応に必要な基礎知識	3	32	25	57
	急変対応②チームリーダーとしての初期対応	2	6		6
		2	8		8
	がん患者の理解と看護実践の根拠	6	31		31
	老年看護-高齢者の理解と看護の視点-	3	14	11	25
	認知症ケアの考え方と実践	3	17	16	33
	私も読める心電図-心電図の基礎と不整脈の見方-	3	38		38
	看護実践における情報活用方法	3	32		32
管理	看護専門職者としての成長とキャリア開発	3	7	11	18
	私にもできる身近な看護管理	3	13	18	31
	働き甲斐のある職場環境作り	3	5	20	25
	看護管理者に必要なコストの知識	3	8	12	20
	副看護師長に知っておいてほしい看護管理のポイント	8	26		26
教育	新卒看護師・学生の育て方	3	46		46
	教育に必要なコミュニケーションスキル	3	24	22	46
	効果的な勉強会と伝達講習の方法	3	7	12	19
研究	研究計画書作成に必要な知識と作成のポイント	3	33		33
	統計学の基礎のキソ	3	9	9	18
	看護研究の指導方法	3	3	6	9
		3			
	看護業務に役立つ著作権の理解と著作物の利用方法	3	12		12
合計（31 コース）		102	531	256	787

表 2. Advanced コース受講者数（延べ人数）

領域	研修名	時間数	受講者数		
			院内	院外	合計
看護実践	高齢糖尿病患者の療養支援	6	2	2	4
教育	効果的な研修企画と研修方法	6	0	7	7
合計（2 コース）		12	2	9	11

表 3. 施設別受講者数

施設名	受講者数	施設名	受講者数
東和会 第一東和会病院	42	枚方公済病院	2
特定医療法人三上会 東香里病院	17	大阪回生病院	2
美杉会佐藤病院	16	兵庫県立リハビリテーション中央病院	2
市立川西病院	15	枚方療育園枚方総合発達医療センター	2
市立東大阪医療センター	14	医療法人医誠会 医誠会病院	1
医療法人成和会 ほうせんか病院	9	医療法人錦秀会 阪和第二泉北病院	1
澄鈴会箕面神経サナトリウム	8	恩賜財団 済生会京都府病院	1
和泉市立総合医療センター	7	協和会協立病院	1
衿正会生駒病院	6	協和会病院	1
松下介護老人保健施設はーとぴあ	5	錦秀会阪和記念病院	1
市立貝塚病院	5	元木クリニック	1
唐澤記念会 大阪脳神経外科病院	4	若草第一病院	1
医療法人マックスール 箕病院	3	蒼龍会井上病院	1
沖縄徳洲会 吹田徳洲会病院	3	大阪急性期・総合医療センター	1
社会医療法人 蒼生会 蒼生病院	3	大阪市立弘済院附属病院	1
信愛会囃生会脳神経外科病院	3	美杉会男山病院	1
篤友会坂本病院	3	宝生会 PL 病院	1
独立行政法人 市立吹田市民病院	3	友愛会松本病院	1
医療法人友誼会 彩都友誼会病院	2	大阪大学医学部附属病院	284
合計（38 施設）			474

